C =

私たちの共同責任

私たちには顧客に対する責任があります。

私たちは、顧客を第一に考え、質の高いアドバイス・商品・サービスを提供し、常に最高レベルの倫理観をもって行動します。

私たちは同僚に対する責任があります。

私たちは、優れた人材がその潜在力を最大限に発揮できるよう、最良の機会を提供します。お互いを敬い、当社ならではの多様性を活かし、成功への責務を共に担い、また、自らの失敗に対する責任を受入れます。

私たちには事業基盤に対する責任があります。

私たちは、各部門の短期的利潤より、シティグループの長期的目標を優先し、当社の株主に最良の結果を提供します。各国の文化を尊重し、私たちが働き、生活している地域社会において積極的な役割を果たしていきます。そして、輝かしい伝統を築いてきた先人に敬意を払い、後に来るものにこの伝統を引き継いでいきます。

シティグループの概要

シティグループには、他の追随を許さない独自の強みがあります。

業績の推移 (単位：10億ドル、資産のみ1兆ドル)

	2005年度	2004年度
収益	$83.6	$79.6
継続事業利益	$19.8	$16.1
当期純利益	$24.6*	$17.0
資産	$1.5	$1.5
株主資本利益率	22.3%	17.0%
株主持分[1]	$118.8	$115.5

1.信託優先証券を含む。

希薄化後一株当たり利益	2005年度	2004年度
継続事業利益	$3.82	$3.07
当期利益	$4.75	$3.26
ティアー1資本率	8.79%	8.74%

部門別当期利益 (単位：10億ドル)	2005年度	2004年度
グローバル個人金融部門	$10.9	$12.0
法人金融・投資銀行部門	$6.9	$2.0
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	$1.2	$1.2
シティグループ・オルタナティブ・インベストメント	$1.4	$0.8

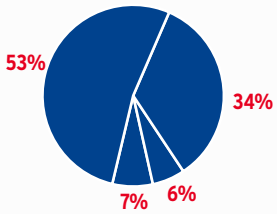
*生命保険・年金事業の売却益21億ドルおよびアセット・マネジメント事業の売却益21億ドルを含む。

資本力 | 自己資本1,188億ドル[1]という強みは、当社に対する格付の鍵となっています。

	Moody's	S&P	Fitch
シティグループ	Aa1	AA-	AA+
シティバンク	Aa1	AA	AA+
シティグループ・ファンディング・インク	Aa1	AA-	AA+

1.信託優先証券を含む。

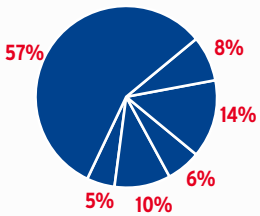
収益の多様性 | 非常に多様化した収益基盤により、厳しい市場環境にあっても安定的な経営を維持します。



商品別比率*

グローバル個人金融部門	53%
法人金融・投資銀行部門	34%
グローバル・ウェルス・マネジメント部門	6%
シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツ	7%

*本社事項/その他および廃止事業を除く。



地域別比率**

米国	57%
ヨーロッパ・中東・アフリカ (EMEA)	8%
アジア	14%
日本	6%
メキシコ	10%
ラテンアメリカ	5%

**シティグループ・オルタナティブ・インベストメント、本社事項/その他および廃止事業を除く。

比類ない事業展開 | 世界中の金融機関の中で最大の販売網を有します。2億の顧客口座を持ち、多様なチャネルを通じて世界100カ国以上で事業を展開しています。

citibank
Banamex
citigroup corporate and investment banking
citi
citigroup private bank
citifinancial
PRIMERICA A member of citigroup
citigroup SMITH BARNEY
citigroup alternative investments

株主の皆様へ

2005年はシティグループにとって非常に重要な年でした。どのようにビジネスを行い、グローバルに事業展開する企業で働く者としてどのように行動すべきかについて、考えさせられる年でした。この取り組みの結果、当社は皆様のご期待により一層応えられるよう、成長に向けた次の段階に入ったと確信しております。

2005年も、当社は世界で最も利益を上げた金融機関となり、事業への投資を継続しながらも、株主に対する資本還元率も業界随一となりました。

継続事業利益は198億ドル、株主持分は1,188億ドルに増加し、総資産は1兆4,900億ドルを超えました。2006年、当社は四半期配当金の11%増配を発表し、21年間連続の普通株式増配を実現しています。

私は当社の2005年の業績を誇りに思っています。2004年の日本とヨーロッパにおける問題を受け、私たちはじっくりと自らを省みて、研修、人材の育成、業績評価、コミュニケーションの改善、管理体制の強化を重視する「ファイブ・ポイント・プラン」を立案しました。また、顧客、同僚、事業基盤に対する3つの「私たちの共同責任」の推進にも力を入れてまいりました。一年を通じて監督当局との会談を重ね、シティグループの企業文化を強化する施策について随時報告をしてきました。年末までには、このような取り組みとその成果が好意的に受け止められるようになったと思いますが、今後とも共通の関心事項や懸念事項について監督当局との関係を維持してまいります。また、当社の強みである革新的な思考や新鮮なアイデアを奨励するため、新世代のリーダーたちを積極的に登用しました。

2005年度の事業概況

2005年度、当社は将来に備え、また、成長の基盤を整えるため、様々な取り組みを行いました。

■ 最も高い成長と収益が見込まれる事業に資本を配分し、ビジネスのあり方を販売網を重視した姿勢に切り替えました。生命保険・年金事業の売却や、レッグ・メイソンの資産管理部門と交換する形での当社のアセット・マネジメント事業の売却に、この姿勢が反映されています。

■ お客様との関係を深めることに重点的に取り組みました。その一例として、個別商品ごとではなく、全ての商品についてお客様のニーズに応え、世界中の様々な市場におけるビジネスチャンスにより迅速かつ効果的に対応できるようにするため米国の個人金融部門の事業を再編しました。

■ グローバルな販売網の拡大にも努めました。リテールバンク 313支店、消費者金融345支店、スミス・バーニー125支店が新設されました。日本では170台のALM（自動ローン契約機）を新たに設置しました。

■ 米国ではより幅広い顧客層にサービスを提供するために、ナショナル・コーポレート・バンクとナショナル・インベストメント・バンクを設立しました。

■ ナイト・トレーディングとラヴァの買収により得た技術を活用し、お客様の電子商取引需要の拡大に対応しました。

■ グローバル・ウェルス・マネジメント部門では、引き続き取扱商品の拡大とアドバイスを中心とする業務の強化を図りました。

■ いくつかの法令・規制上の問題についても、好ましい形で解決されました。

■ シティグループ・マイクロファイナンス・グループを立ち上げました。これは、有力なマイクロファイナンスの機関やネットワークに加え、パートナーまた顧客として投資家も取り込み、金融機関から十分なサービスを受けられない、または、金融機関の顧客となっていない個人に対する金融商品・サービスの提供拡大を目指しています。

以上の報告に加え、2005年度には失望や課題に直面したことも認識しております。

■ 業績は期待値には届かず、営業面での増益効果は目標達成には至りませんでした。

■ 米国のカード事業と債券部門は厳しい事業環境に直面しました。連邦破産法改正法施行、価格競争の激化、金利上昇に加え、当社のポイントプログラムに対する会計方針を厳しくしたことにより、米国カード事業の当期利益は減少しました。第2四半期の資本市場環境が厳しかったため、債券部門の通年の収益の延びに悪影響を及ぼしました。

■ 金利が上昇し、世界規模でイールドカーブが横ばいとなった中、純利子収益は、減少幅が徐々に縮小したものの、減少しました。

しかしこうした失望や課題に直面したからこそ、2006年度以降には好業績を達成したいという思いを一層強くております。また、当社の継続的成長の基盤は整ったと確信しております。

シティグループの特徴

当社には、5つの優位点があり、これにより他の金融機関よりも優位に市場での機会を認識し、捉えることができます。

一つ目は、最もグローバルな存在だということです。米国金融機関の中では最大の国際的な展開をしており、グローバルな金融機関の中では米国で最大の事業基盤を展開しています。100カ国で事業を行っており、その多くで100年を超える歴史を持っています。それぞれの地域に深く根ざしているため、お客様のニーズや成長の機会がどこにあるのか常に洞察を持つことが可能です。

二つ目は、最も広範な販売網です。私たちは日々、世界のどの金融機関よりも多くのお客様にサービスを提供しています。何千もの銀行、消費者金融、スミス・バーニーの拠点、ATM、ALM（自動ローン契約機）、トレーディング・デスク、オンライン・サービス等を通じてお客様と接しているのです。

グローバルな事業展開と広範な販売網は、三つ目の優位点によってより一層強力なものとなります。それは最高のブランド力です。強み、安定性、誠実さといった当社のブランドの要素により、優秀な人材を世界中で確保することができ、また、すばらしい顧客基盤をグローバルに築くことが可能になります。

四つ目は、他に並ぶもののない規模と効率性です。これは、好調な利幅や高い資本創出に反映されています。これによりどのような経済状況にあっても成長することが可能になります。

五つ目は、最も幅広い商品です。学生ローンや退職プランニングから、ベンチャー・キャピタルや新規株式公開に至るまで、業界最多の商品を提供しています。

こうした独自の優位点により、シティグループの将来について期待を持って見ることができるのです。世界中でGDP成長が続き、開発途上国で市場改革が実施され、世界貿易が拡大する中、新たな中産階級が生まれています。当社は、今後5年間に米国外で約7億5,000万人の潜在的な新規顧客が誕生すると予想しています。これは金融業界、特にシティグループにとってまたとないチャンスだといえます。

当社が提供する商品・サービスは数多くありますが、シティグループの真の力は、それを組み合わせ、お客様のために一丸となることで発揮されます。当社はこの目標達成に向けて進んでいると確信しています。

戦略上の優先事項

2006年度以降、5つの戦略上の優先事項があります。

■ 販売網の拡大—世界中で新規市場に浸透し、既存市場での更なる事業展開を図るため、リテールバンクと消費者金融の支店開設のペースを加速化し、証券仲介事業と電子商取引を含むキャピタル・マーケッツを拡大し、米国のプライベートバンク担当者数を増強しています。

■ 専門知識の共有—シティグループを一つの会社として経営するため、商品・サービスの統合を図っております。これにより洞察力に富んだ総合的なソリューションを提供し、顧客サービスの向上を図ることが可能となります。同時に、専門知識の共有は、当社に大きな価値を生むことでしょう。バナメックスと米国カード事業の提携を見ればその効果がわかります。米国で培った当社の顧客ターゲティングとプライシングの経験を、バナメックスの商品とマーケティングの専門知識と組み合わせることで、バナメックスのクレジットカード事業は、2005年度、収益・純利益ともに50%増となりました。

■ 人材とテクノロジーへの投資—当社の目標の一つは、シティグループ全体で更なるシステムと基準を共有化し、どの事業部門がどのようなサービスを提供しようとも、お客様がより簡単に取引できるようにすることです。また、優秀な人材の確保と育成のため、今後も「ファイブ・ポイント・プラン」に盛り込んだ通り、長期的な研修と人材育成に重点を置きます。当社は『フォーチュン』誌によるMBA取得者が働きたい企業ラインキングで今年も引き続き第2位となる等、魅力的なキャリアを提供しています。

■ 成長可能性が最も高いところへの資本配分—高い成長や収益が見込まれる事業に絞って資本を投下するため、今後とも資本活用方法を厳格に評価します。例えば2005年末、日本の日興コーディアル・グループの持株の大部分を売却し、合弁会社の日興シティグループに対する投資を増やしました。

■ 「私たちの共同責任」の推進—2006年以降も、事業基盤を拡大させるための基礎として私たちの3つの「共同責任」に取り組んでいきます。

当社は、お客様の期待に応えるだけではなく、これを上回らなければならないと考えています。シティグループは、各部門が連携し、全社一体となって総合的なソリューションをお客様に提供してまいります。この目標を達成するために、迅速に動くことのできる組織を構築し、形式主義をなくすように努力を続けています。

社会的貢献

昨年度は、2004年末のインドネシア・スマトラ沖地震による津波、インド・パキスタンの地震、米国のハリケーン等、前例のない自然災害に見舞われた年でした。このような災害に際して、シティグループ、シティグループ・ファンデーション、当社社員は、災害支援活動と被災地域復興のため3,000億ドル余りを寄付しました。これは私たち全員が誇りに思っていることです。

また、初めての試みとして、米国赤十字社主催の災害支援プログラムに30名の社員が参加しました。シティグループが費用を負担し、この30名はハリケーン・カトリーナの被災者支援のため2週間ボランティア活動に従事しました。この30名をはじめ、様々なボランティア活動に参加している何千人もの当社社員を誇りに思っています。

また、昨年10月に南アジアを襲った地震に際しては、サンディ・ワイルをはじめ、被災者の支援活動に参加した社員を大変誇りに思っています。ワイル氏は、民間企業のビジネス・リーダー4人とともに、ブッシュ大統領から被災地の支援と復興のため、民間からの寄付を募るキャンペーンを指揮するよう依頼されました。このようなリーダーの尽力もあり、民間企業は、1億ドル余りの寄付金と救援物資を集めました。

最後に、当社は「ダウ・ジョーンズ・サステイナビリティ・ワールド・インデックス（DJSW）」と「FTSE4 グッド・インデックス」の構成銘柄に再度選ばれました。これらの指標は、持続的成長の基準設定に貢献した企業や、環境面、社会面、経済面で優れた実績を上げた企業を認定するものです。

当社の人材

当社は、社員に高いレベルを要求する会社ですが、社員はこの期待を上回る成果を上げてくれています。2005年、当社は更に高いレベルを求めました。それは、業務上の責任を果たしつつ「ファイブ・ポイント・プラン」を通じて企業文化を再構築するというものです。これには多くの時間と労力を要しましたが、社員はこの要求に応え、しっかりとした将来への成長の基盤を築き、最も信頼されるグローバルな金融機関になるという目標に近づくことができました。

サンディ・ワイル氏

私の信頼できる相談相手であり素晴らしい友人、また自らのビジョンで金融業界を改革した人物、サンディ・ワイル氏について述べたいと思います。ワイル氏は、今年4月にシティグループ会長を退任いたします。

過去20年間、私は20世紀の偉大なビジネス・リーダーの一人であるワイル氏とともに働く名誉と幸運に恵まれました。

ワイル氏のビジョンは明確でした。出来る限り多くの人が経済の主流に参加できる間口を広げる一方で、株主の信頼に応えて最大の価値を還元するというビジョンです。ワイル氏は次々と大胆な判断で目標を達成しました。トラベラーズを築き上げ、シティコープという偉大な企業との合併を通じて、世界で最も成功を収めた金融機関シティグループを作り上げたのです。

ワイル氏の偉業を手本にした人は数多くいますが、彼の成し遂げたことに及ぶ人は未だ現れていません。彼の業績は、歴史に残ることでしょう。

当社の会長であり前 CEO であるワイル氏に別れを告げる時がきました。絶妙な時代感覚、成功への不屈の意思、率直さ、誠実さ、そして同僚やグローバルな金融業界に対する配慮。この全てを兼ね備えたワイル氏が去ることを残念に思います。幸いワイル氏は今後も当社を支援してくださるとのことで、感謝したいと思います。

今後について

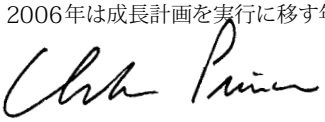
2005年12月16日の投資家及びアナリスト向けのミーティングで発表した長期的な財務目標を含め、どれだけ戦略的な目標を達成したかで当社自身を評価していきます。

- 18 ～ 20% という高い株主資本利益率。
- 一桁台後半という中高水準の内部収益成長率。但し、これは資本市場の変動から影響を受ける可能性があることを認識しています。
- 既存事業の成長による利益の拡大を図ります。収益の伸び以上に利益を拡大するため、経費節減と効果的な与信管理に取り組みます。

買収や自社株買いがあればこの目標をさらに上回るでしょう。

2005年、当社は中核事業に再度焦点を絞り、明確な戦略目標を打ち出し、企業文化を強化し、将来的な成長の基盤を構築しました。

2006年は成長計画を実行に移す年です。



チャック・プリンス

株主の皆様へ

「私自身のキャリアを振り返り、変革を実現させる機会に恵まれたことを幸運に思います。自らが率いた社員の多くが家族のためにキャリアを成功させ、地域社会に貢献したことを誇りに思っています。」

サンディ・ワイル

2006年4月18日、私はシティグループの会長職を退任いたします。

このように記すのは容易なことではありません。シティグループとその前身企業は過去46年間の私の人生にとって極めて重要であり、それ以外の違う現実を想像することすら困難です。これまでそうであったようにシティグループは今後も、私にとって家族であり続けるでしょう。

しかし、時が来ました。私はチャック・プリンス氏と彼の経営陣が導く当社の方向性に非常に満足しております。私は当社がこれからも更なる発展を続けること、そしてシティグループの新経営陣が偉大なる新境地への第一歩を踏み出したことを確信しています。

シティグループ設立は、私のキャリアにおいて最も重要な出来事でした。金融業界に従事してきて最も良かったと思う事は何か、との質問に対する私の回答は常に一貫しています。それは私の経営した会社が世界中で何百万人もの人々の生活水準向上の一助となったということです。私たちは、誠実さをもってこれに取り組み、金融サービスを利用する機会を提供してまいりました。これは、人々の夢の実現、企業の成長、地域社会の活性化につながりました。

この点に関しては、当社ほど成功を収めた企業はありません。

シティグループは100カ国で事業を展開し、その多くで一世紀以上の歴史を持ち、競合他社よりも多くの商品、広範な販売網を有しております。これは当社を金融業界のリーダーへと築き上げた本当にたくさんの社員による努力の賜物です。当社は業界随一の業績、収益力を誇っているのです。

光栄にも私は、こうした有能な方々と共に仕事をすることが出来ました 。また、業界最大規模の再編も見てきましたが、その中で一貫していたのは当社の成功の基盤であり続けた、社員の勤勉さ、そして顧客・株主への貢献でした。

私は、取締役会とともに職務にあたる機会にも恵まれました。私は取締役会こそが世界で最も優秀であり、金融業界における企業統治基準を定め、その過程でシティグループが将来末長く繁栄するための体制を整えてきたと考えます。

昨年永眠された私のよき友人でもあり前取締役でもあったアーサー・ザンケル氏についても一言述べたいと思います。アーサーは素晴らしい人物であり、まさにその言葉が示すとおりのリーダーであり、教育が人々を救うという信念を持った寛大な人でした。アーサー、あなたがいなくなって残念です。しかし、あなたが残した功績は、様々な形で私たちに継承されているのです。

私の人生は素晴らしい旅であり、そして重要なことに楽しさに満ちています。長年、私はディール・メーカーとして知られていて、そのキャリアのなかでも数多くの案件を成立させたことを誇りに思っています。しかし個人的には、人生で最大の「案件」は、1955年6月にやってきました。ジョアン・モシャーという女性がジョアン・ワイルになったことでした。ジョアンは私にとって最高の親友・相談者であり、良い時も悪い時も一緒に過ごしてくれました。彼女なしには今日の私はありえません。

シティグループを退任することはすべてが終わったということではありません。ご承知の通り、私は教育の力を信じており、若者に精神的な成長や社会貢献活動への準備の場を提供する機関を代表して、今後とも力を尽くしていく所存です。また、シティグループへのコンサルティング業務に加え、企業による慈善事業推進委員会、カーネギーホール、ワイル・コーネル・メディカルカレッジ、ナショナル・アカデミー基金の会長職を含めた慈善活動を続けてまいりたいと思っております。

私自身のキャリアを振り返り、変革を実現させる機会に恵まれたことを幸運に思います。自らが率いた社員の多くが家族のためにキャリアを成功させ、地域社会に貢献したことを誇りに思っています。数多くの素晴らしい人物と出会い、生涯の友を得ました。シティグループは常に私の家族にとって重要な部分であり続けるでしょう。また私は今後、チャック・プリンス氏を全面的にサポートしてまいる所存ですし、彼がシティグループをエキサイティングな未来に向けて導いてくれるものと確信しています。

親愛なる皆様、常に秀逸なるものを目指し目標達成に近づいても油断しないことです。きっと自分の可能性に驚くことでしょう 。皆様のご多幸をお祈りします。

株主の皆様へ

「人生に確かなことはありませんが、ある同僚が言った通り、シティグループほど素晴らしい指導者、戦略、社員を持った金融機関は世界中に存在しないでしょう。」

ロバート・ルービン

現在、私たちは高度な技術開発、技術の広範かつ急速な普及、貿易・資本市場のグローバルな統合、そして世界的な市場経済に向けた動きにより、歴史的な世界経済の変化の時代の真っ只中にあります。この結果、世界経済には大きな機会と多くの課題が存在します。

この大きな機会を捉えることができるか、あるいは深刻な問題に直面するかは、こうした課題に取り組むための世界経済の主要地域における政治制度の良し悪しにかかっています。これらの機会と課題、そしてそれらを浮き彫りにする多くの要因は、企業、投資家、政策立案者が意思決定を行う上での複雑性と不確実性をもたらしています。

そして、明確な答えはありません。あるのは起こりうるシナリオや、それが起こる確率に関する判断だけです。起こりうるシナリオがいつ現実のものとなるかは予測不能なため、事態はより一層複雑になっています。

もっとも起こりうるシナリオとしては、地域経済の相対的な重要度が中国、インドをはじめとするアジアの新興国にシフトすることです。これらの国々はそれぞれ重要な課題を抱えており、中でも特に重要なのは、経済に関する意思決定への政府の関与を取り除くことです。しかし、こうした課題に対処する目的で、政治制度が大きく改善していることは良い予兆といえるでしょう。

世界中の先進国や新興国も、それぞれ課題を抱えています。まずは、構造的硬直性や貿易障壁の緩和です。また、出来るだけ多くの参加者が経済成長の恩恵を享受できるようにし、参加者が限定されることで市場経済や貿易の自由化が阻害されることがないようにすることです。さらには、経済的緊急課題として、環境保護、財政不均衡の是正、労働力高齢化への対応も課題です。

当社は世界最大の金融機関であり、100カ国で展開する真の国際的企業であることから、当社の社員はこれら全ての課題に日々取り組んでいます。例えば、今日の原油価格高騰がもたらす巨額のオイルマネーの流れの問題。世界の貿易不均衡、米国の中長期的財政不均衡の影響が長期的に世界の金利や為替に及ぼす影響。将来的に世界経済において最高成長率を達成する国、あるいは最低成長率を記録する国の問題等、様々な課題があります。

当社の会長を退任するサンディ・ワイル氏は、それぞれに素晴らしい歴史を持つシティコープとトラベラーズを合併させ、特別な能力と強みを持つ企業を構築しました。こうした強みには、資産規模、グローバルな事業展開、顧客の多様なニーズに応える幅広い商品、そして最も重要な強みとして、こうした能力を全て活用し顧客のためのソリューションを開発できる非常に優秀な専門家集団が含まれています。

当社のCEO、チャック・プリンス氏は、相対的に成熟した市場にもかかわらず引き続きシティグループにとって大きな機会がある先進諸国—ヨーロッパ、日本および米国—における積極的な展開、可能性を秘めた数多くの新興国における長期的な展開を実現するための戦略を策定しました。シティグループの強みを通して、お客様のため、可能性を秘めた優秀な社員のため、そして株主のために、価値を提供することができます。

人生に確かなことはありませんが、ある同僚が言った通り、シティグループほど素晴らしい指導者、戦略、社員を持った金融機関は世界中に存在しないでしょう。

C = 最も広範な販売網

「私は米国内や海外を頻繁に旅しますが、シティについて気に入っていることの一つは、いつでも**どんな場所でも銀行取引ができること**です。様々な場所に店舗があります。スタッフも素晴らしいと思います。」

ロンデル・デイビス氏、米国シティバンクの30年来の顧客

グローバル個人金融部門

Homeowners...Small Businesses...College Students...Retirees

2005年はいくつかの課題に直面したものの、シティグループのグローバル個人金融部門は金融業界のリーダーとしての地位を堅持しております。他社の追随を許さない企業規模、世界的な販売網、革新的な商品とサービス、そして業界随一のブランドとともに、当社の個人金融部門は北米をはじめ世界中の国々でさらなる成長を遂げる体制にあるのです。

昨年私どもが直面したいくつかの問題としては、新米国破産法施行による破産数の増加およびハリケーン・カトリーナによる被害が挙げられます。これらは私どもの当期利益にも影響を及ぼす事となりましたが、それでもなお、個人金融部門は当期利益109億ドル、収益482億ドルを達成しました。

シティゴールドのお客様がモスクワで投資、香港では中小企業のお客様にローンをご提供、インドのお客様にはシティファイナンシャルを利用して初めてのスクーター・ローンをご提供、新しく移住されたお客様に初めての当座預金口座をニューヨークにて開設ーいかなる場合においても、グローバル個人金融部門は世界各地のお客様に他のどの金融機関よりもこれまで以上のサービスをご提供しています。

2005年新たに開発された商品・サービスは、米国でのペイパス・デビット商品、エジプト初のカード・ポイント・プログラム、オーストラリアでの携帯電話を通じたモバイルバンキングがあり、ルーマニアでは全土の郵便局にシティファイナンシャル窓口が設置されました。

顧客第一主義

2005年は転換期であり、大規模な構造、経営上の改革が実行されました。個人消費市場からの様々な機会を捉えるため、お客様の層にあわせた事業再編を実施したのです。

当社の米国における個人金融事業は以下のように組織再編されました。店舗ベースの個人金融事業とプリメリカ・ファイナンシャル・サービスから構成される米国リテール販売網、住宅ローン、自動車ローン、学生ローン事業を含む米国個人向け融資、米国カード、そして米国中小企業向け業務です。この新たな組織構造により、お客様のニーズに合った商品やサービスをうまく一体化させること、そしてお客様と緊密な関係を構築することが可能となりました。

広範な商品群

当社の米国カード事業は、クレジットカード発行における世界第1位の座を占めるほどの革新的な商品とサービスを提供しております。

2005年の数多くの取り組みの一環として、米国ではシンプリシティ・カード事業を立ち上げました。これは延滞金支払に対するお客様からのご要望、担当者による迅速で活気ある、一対一のサービスを求めるお客様からのご要望に応えたものです。シンガポールのプラチナ・カードはお客様に多様な保険オプションを提供、一方ロシアでは、増加する富裕層のニーズに応えるためシティ・アルティマ・カードを導入しました。

また、既存商品も業績の伸びを示しました。富裕層向けシティゴールドではサービスを拡大、スペインでは商品を立ち上げ、香港ではシティゴールド・センターを開設、インドネシアではシティゴールド・メンバー・リワードを導入しました。米国におけるシティゴールドの顧客数は、ここ数年にわたり最高の伸びを示しています。

同じく2005年、米国カード事業は、業界初となるアメリカン・エキスプレス・ネットワークを通じたシティカード発行を開始すると発表しました。シティ・アメリカン・エキスプレス・カードは、全米の数百万店舗、1,700以上のアメリカン・エキスプレス・トラベル・サービスのオフィスで利用可能です。

販売網の拡大

同様に、シティファイナンシャルとシティバンクの拠点網の拡大は、何百万人もの消費者の財務目標達成と夢の実現を支援しています。

南米を例に挙げると、2005年度ブラジルにおける当社のリテールバンク事業は60店舗に拡大し、顧客数は23万人に成長しました。コロンビアでは、店舗数とATM数を50%増設いたしました。そしてペルーでは9店舗を増設し、パーソナル・ローン、個人口座、オンライン取引の実施など、主要な商品・サービスを導入しました。

米国では、テキサス州に本社を構えるファースト・アメリカン・バンクの買収を完了、米国の主要市場の一つであるこの地に106店舗を増設しました。

2006年度も、シティバンクとシティファイナンシャルは世界中に数百店舗を新設し、事業を大幅に拡大する予定です。現在ブラジル、トルコ、ロシアなどの国々において、リテールバンク店舗網をさらに拡大する準備を進めています。また、メキシコ、ポーランド、インド、スペイン、韓国等で消費者金融の店舗を増設する予定です。

成長の基盤

200年近い歴史を誇る当社が築いてきた財産のひとつである銀行業務は、今後200年間の成長のための基盤となるものです。7,919箇所のリテールバンク店舗と、消費者金融の店舗(日本の自動契約機を含む)からなるネットワークで世界50カ国、数百万人のお客様にサービスを提供しています。

2006年および2006年以降の優先事項の一つに、こういった私ども独自の事業基盤を活用し、新規顧客の開拓、既存顧客との関係を強化することが挙げられます。私どもにはこれらを成功に導く販売網、商品、サービスがあります。さらに、お客様にサービスを提供する革新的な策を立案する洞察力があるのです。シティ・アイデンティティ・セフト・ソリューションズ、サンキュー・ネットワーク、シティバンク・グローバル・トランスファー等のユニークなサービスに見られるように…。

グローバルな専門知識の共有

シティグループは世界でも有数の経験豊かな金融機関であり、世界規模の拠点網は国境を越えた専門知識の共有を可能とするものです。他の追随を許さないリスク管理、意思決定に関する専門性を通じて、私たちはいかなる市場においてもローンや口座開設等様々なサービスを提供することができます。インド、ポーランド、ブラジルといった新興市場への参入、信用枠の増額、当座預金口座開設、カード発行の分野において、シティグループに並ぶ金融機関はありません。

「私の担当のシティゴールド・エグゼクティブは、定期預金口座、市場連動預金口座、投資信託からの三種の通貨を組み合わせ、バランスの取れた収益性の高いポートフォリオ構築を手助けする素晴らしいサービスを提供してくれます。私はシティフォン、シティバンク・オンライン、それから頻繁に出る出張の際にはシティゴールドの無料空港ラウンジを利用しています。総合的に見て、シティゴールドは現在のロシア市場における最高の事業です。」

タマラ・ショカレワ氏、シティゴールド顧客、ロシア。

中国では昨年、上海浦東発展銀行と合弁事業を立ち上げ、新たなクレジットカードを導入しました。米国のカード技術を中国に導入することで、初の二重通貨カードを発行することができたのです。

地域社会への貢献

地域社会への貢献は私どもの中核的目標及び責任の一つと捉えられています。金融教育支援のために10年間で総額2億ドルを投入する事業が2年目を迎えた2005年には、当社の金融教育と地域社会への貢献はまたしても効果を発揮しました。

マレーシアでの金融教育サミットから、ポーランドでの経済教育プログラム「マイ・ファイナンス」に至るまで、私たちは世界中で金融知識普及のために時間をかけ、努力してまいりました。

加えて、シティバンク・コミュニティ・ディベロプメントは昨年25億ドル近くのローンを発行し、1万棟以上の低中所得者向け新築住宅の建設に寄与しました。

シティグループの個人金融事業は、あらゆる経済環境で収益を確保できる、世界規模のフランチャイズです。お客様第一主義を守り、豊富な経験を新規市場に投入、お客様のニーズに合わせた革新的なソリューションを提供し続け、今後も長期的に成長してまいります。

C = 最高のブランド

「案件の獲得、バランスシートや資産へのコミットメント、誤った方向に行きそうな時に注意してくれること等、シティグループは我々のために**正しいことをしてくれる**と信頼しています。案件の獲得に乗り出すときには、シティグループが味方にいてくれると心強く感じます。」

スティーブン・シュワルツマン氏、ザ・ブラックストーン・グループ会長兼CEO、米国

法人金融・投資銀行部門

Corporations...Institutional Investors...Governments...Corporations

法人金融・投資銀行部門を最も特徴付けるのは、顧客との関係が緊密で長期にわたること、さらに世界100カ国において地域に根差しつつ、革新的なソリューションをお客様に提供していることです。

2005年、当社はお客様に戦略的アドバイスや新しいアイディアに加えて、世界中のどこであっても難しい案件を取りまとめられるソリューションと独自の手腕を提供いたしました。

2005年度は経常収益約240億ドルに対し当期利益は69億ドルとなりました。

事業基盤の強み

2005年、キャピタル・マーケッツおよび銀行業務において、初めて「グローバル・アンダーライター・オブ・エクイティ&エクイティリンク・セキュリティズ」第1位を獲得し、力強いモメンタムを達成しました。これはアドバイザリー業務の専門知識とグローバルな株式販売力の相乗効果を生み出している当社の取り組みの成果だといえます。また、2005年通年に締結されたM&A案件のアドバイザーとして世界第2位となりました。

当社のグローバル・トランザクション・サービスは、昨年、シティグループの中で最も急速に成長した部門となりました。『ユーロマネー』誌で7年連続「ベスト・バンク・フォー・キャッシュマネジメント」に選ばれました。また、「トレジャリー・ビジョンSM」、『ザ・バンカー』誌の「バック・オフィス・ソリューション・フォー・ザ・イヤー」に選ばれた「アセット・マネジャー・ソリューション・フォー・セパレトリー・マネジド・アカウンツ」等の新商品を導入いたしました。

当社の債券部門は取引を行った国、通貨そして顧客数で業界最大規模を有し、世界中で債券引受主幹事としての実績第1位を維持しました。株式部門にとっても素晴らしい年となり、ほぼ全ての業種でマーケットシェアと顧客ランキングが改善されました。

新興市場の約70カ国に現地トレーディングフロアを有するエマージング・マーケット・セールス・アンド・トレーディング事業も、昨年クライアント・フォーリン・エクスチェンジ・アンド・デリバティブズで取引量23%増と好調でした。

グローバルな債券・株式の引受実績も17四半期連続で第1位を獲得し、資本をコミットし流動性の提供に対する当社の意思と能力に対して、お客様から信頼を寄せて頂いています。また、米国の電子商取引能力とナイト・トレーディング及びラヴァ・トレーディングの買収によって得た技術の双方を活用することで、電子商取引を利用する顧客数が3倍近く増加しました。

金融機関に関するランキングのほぼ全ての分野で当社が第1位または上位を獲得していることを誇りに思います。当社のアドバイスやサービスにより、リーグテーブル25部門中14部門で第1位にランクされました。これは業界最多です。全ての分野で、地域金融機関及びグローバル金融機関との比較において、当社は常に業界のリーダーと認識していただいています。これは当社の専門知識、提供する価値、そして社員の資質を示す力強い指標であり、他の金融機関の追随を許さないものといえます。

専門知識の共有

お客様のニーズに応える上で重要なことは、社内横断的且つグローバルなチームを活用した総合的ソリューションを提供することです。ドイチェ・アニントン社によるビテラ社の128億ドルの買収案件で当社がアドバイザー、資金提供者、投資家の役割を果たし、この強みが発揮されました。これは当時ドイツ最大の不動産取引及びプライベート・エクイティ投資であり、当社の債券本部、投資銀行本部とシティグループ・オルタナティブ・インベストメンツが総力を結集した取引です。

「シティグループが資本構造のあらゆるレベルで当社と協働し、大規模な取引を扱う能力を持っていたおかげで、厳しい競争に打ち勝ってこの画期的な取引をまとめることができました。」とテラ・ファーマ・キャピタル・パートナーズのCEO、ガイ・ハンズ氏は語っています。

また、ペプシコが投資の最適化を図るため、グローバルに管理できるバンキング・システムを必要としていた時、シティグループは協働でリアルタイムに残高、キャッシュポジション、投資、借り入れを把握できる強力なウェブベースのツール、「トレジャリー・ビジョン」を開発しました。

Institutional Investors...Governments...Corporations...Institutional Inve

「私たちはシティグループに多くのことを期待します。それはシティグループが世界中で事業展開しているからです。シティグループが提供する専門知識とアドバイスを頼りにしており、今まで100年間続いたこの関係を次の100年も継続したいと考えています。」

ウォルフガング・H・ライヒェンベルガー氏

エグゼクティブ・バイス・プレジデント、
ファイナンス・ネスレ、スイス

「『トレジャリー・ビジョン』は画期的なツールです。」とペプシコのシニア・バイス・プレジデント兼トレジャラー、ライオネル・L・ノウェルIII氏は話しています。「『トレジャリー・ビジョン』を使うと、既存のものから選ぶのではなく、必要な新しいサービスを始めることができ、真の競争優位性を提供してくれます。」

2005年8月、中国石油天然気集団公司は、中国企業による史上最大の国際的M&Aとなるペトロカザフスタンの買収を発表しました。同社は原油価格の高騰、競争の激化、最近の中国企業による国際的買収の失敗という複雑な課題に直面していました。当社のM&Aグループ、エネルギーグループ、債券本部のチームと、香港、中国、ロンドン、ニューヨークおよびカナダの担当バンカーの協力で、中国石油天然気集団公司は目標を達成し、わずか4ヶ月で41億8,000万ドルの取引を完了しました。

グローバルな事業基盤

世界規模の鉄鋼製造会社、ターニアム社は、イルサメックス社株式の99.3%を公開買付するための資金調達に際し、ラテンアメリカ各国市場でリーダー的地位を持ち、なおかつ現地の有能な人材を抱える会社を主幹事にしたいと、シティグループを選びました。13億8,000万ドルの取引は、アルゼンチンでは法人としては最大の借り入れによる資金調達となり、持株会社レベルでの資金調達を可能とし、リスクは3カ国に分散されました。これにより、投資家に健全な投資機会が提供されました。

「グローバルな事業基盤を持つシティグループは、この取引における理想的なパートナーでした。」ターニアムのCEO、ダニエル・ノヴェギル氏は述べました。

米国内需要の18%近くを供給する主要な石油・ガス用の港であるルイジアナ州ポート・フォーションに続く多くの道路が、相次いで同地域を襲ったハリケーンにより通行不能となりました。ハリケーン・カトリーナとハリケーン・リタは同港と周辺道路に多大な被害を及ぼし、エネルギー価格が高騰、米国経済に大きな打撃を与えました。業界首位のシティグループ米国地方債チームは、地方政府や政府機関、エネルギー会社、格付け機関、地方債保険会社、投資家と協力して、同港主要インフラ修繕プロジェクトのために、2億4,000万ドルの資金調達を行いました。

「シティグループをパートナーとしたことで、他社ではあり得なかった安心感が得られました。」港湾ディレクター、テッド・ファルグート氏は語りました。

2005年、国連の災害支援機関である世界食糧計画（WFP）とパートナーシップを結び、当社の世界規模の事業展開、地域との関係、非常事態に迅速に対応する能力を活用して、災害に対処するためWFPを継続的に支援しました。このパートナーシップは、シティグループが2004年のスマトラ沖地震による津波発生後にWFPのバンコク活動拠点整備を支援したことから始まりました。

販売網の拡大

米国ではより広い法人顧客層にサービスを提供するため、ナショナル・コーポレート・バンクとナショナル・インベストメント・バンクを設立しました。また、ファンドサービス業務と証券代行業務を立ち上げるためにユニセンを買収しました。さらに、ラザード・アセット・マネジメント社から業界最大の「セパレトリー・マネジド・アカウント」のアウトソーシング業務を受託しました。マレーシアにおけるトレード・サービスの功績により、金融機関としては初めて、名誉ある「プライム・ミニスターズ・クオリティ・アワード」を受賞する等、品質管理の取り組みも成果を上げています。

お客様により良いサービスを提供するため、当社はフィラデルフィア証券取引所とボストン証券取引所に戦略的投資を実施し、少数株主となりました。取引執行の柔軟性強化、代替的流動性プールの提供、および市場全体の効率性の向上に貢献するため、電子通信ネットワークを購入して株式市場における技術力を強化しました。そして債券関連商品の進化に伴い、ストラクチャード・コーポレート・ファイナンスを再編し、ローンとレバレッジド・ファイナンスチームを統合しました。

コモディティ・トレーディング・ハブをテキサス州ヒューストンに新設し、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールと連携し、天然ガス、原油、貴金属、および電力のトレーディングを手がける顧客に創造的なソリューションを提供しています。また、インドでは、当社の株式業務が大きく拡大しました。

当社の人材

2005年を通じて引き続き人材を重視し、非常に経験豊富なバンカーや洞察力のあるリーダーを新たに採用するとともに、既存の社員に対してはキャリア開発の機会を増やしました。私たちは最善のアイデアを創出し質の高い仕事を提供し、常にお客様の最善の利益のために尽力しています。

C = 他に並ぶもののないスケールと効率性

「起業家として、ハイテクベンチャーの育成や新技術の実用化に情熱を持って取り組んでいます。このようなリスクは、進んで引き受けます。しかし、自分のお金の管理となると、リスクに対しては慎重です。ですから、スミス・バーニーの最も**優秀な人材**が、シティグループのような規模の会社で、自分のポートフォリオを運用していると知り、安心しています。」

スティーブン・ムーア、スミス・バーニーの顧客、米国

グローバル・ウェルス・マネジメント部門

Individuals...Institutions...Corporations...Governments...Foundations

グローバル・ウェルス・マネジメント部門では、独自の強み、規模、専門知識を組み合わせることで、お客様の資産管理や投資調査のニーズに応え、お客様が求める知識と見識を提供しています。

グローバル・ウェルス・マネジメント部門は、シティグループ・スミス・バーニー、シティグループ・プライベートバンク、シティグループ・インベストメント・リサーチにより構成されています。当部門設立以来、これら三事業を一体的に展開することで、当部門が提供する価値がより高まってきているといえます。

スミス・バーニーとプライベートバンクを合わせると、世界最大規模の資産管理事業となります。所属するファイナンシャルアドバイザーやプライベートバンカーは14,000名以上、運用資産額も1兆4,000億ドルとなります。また、シティグループ・インベストメント・リサーチは、ウォール街でも主要なリサーチ機関であり、調査部門には300名以上のアナリストが所属し、世界各国の機関投資家や個人投資家に対して客観的で革新的な調査を提供しています。

2005年には、収益は87億ドル、当期利益は12億ドルとなりました。

規模とリサーチ能力が一体となって初めて、グローバル・ウェルス・マネジメント部門の強みを発揮することができます。この二つが一体となることで、お客様のファイナンシャル・ゴールを達成するために求められる見識やアドバイス、対応策を提供できるのです。

お客様の立場で考える姿勢

グローバル・ウェルス・マネジメント部門の戦略の中核にあるのは、お客様の立場で考えるという姿勢です。私たちの目標は、単に投資商品を販売することだけではなく、複雑で変化する様々な選択肢がある中で、お客様の舵取り役となり、お客様の人生の金融に関する側面を成功に導くことです。

2005年にレッグ・メイソンの資産管理事業を受け取る形で、当社のアセット・マネジメント事業を売却しましたが、上述の考え方に対して当社が真剣に取り組んでいることの表れだといえます。この案件は、資産管理の分野において画期的な出来事だったといえます。当社の社内資産運用事業を売却して、利害関係の対立が発生するおそれを事前に排除するとともに、お客様に対して最高水準の資産管理サービスを提供するという確固たる姿勢を改めて明確に示したからです。

お客様の立場で考えるという方針を中心に据え、2005年には「スミス・バーニー・アドバイザー」を導入しました。このプログラムにより、お客様はスミス・バーニーのファイナンシャル・アドバイザーと相談の上で作成したアセット・アロケーションのガイドラインに照らして、自分で口座の運用ができるようになります。このモデルでは、ファイナンシャル・アドバイザーは、健全な投資アドバイスを提供することに集中することができます。さらに重要なのは、お客様が支払う手数料の算定基準が、取引高ではなく口座の残高となることです。

お客様からは、大変大きな反響が寄せられています。わずか7ヶ月間で、スミス・バーニー・アドバイザーの運用資産は、35億ドルを上回る規模にまで増加しています。他の手数料ベースのサービスに関しても、引き続き投資家からご好評を賜っています。2005年における手数料収入が記録的な水準に達しており、収益の約50%を占めています。

シティグループ・プライベートバンクにおいても、お客様の立場で考えるという姿勢を重視し、世界有数の起業家や資産家に対して、有益なアドバイスや金融サービスを提供しています。お客様の財務面・事業面の目標の実現を側面から支援するため、シティグループ・プライベートバンクでは、グループ内の様々な専門家と担当のプライベートバンカーが連携し、チームで、弁護士事務所、不動産開発業者、資金拠出団体や企業家など、独自のニーズのある顧客層にも対応しています。

シティグループ・プライベートバンクでは、不動産が資産の大部分を占めるお客様向けに特化したアプローチ等も展開しています。このようなお客様の場合、不動産ファイナンスや最新のアセット・アロケーションに加え、不動産比率が高いポートフォリオ向けのリスク管理戦略を提供することができます。同様に、シティグループ・プライベートバンクでは、弁護士の独自のニーズに応える特殊な商品を30年以上にわたって提供しています。

シティグループ・プライベートバンクでは異なる資産ごとに異なるアプローチを取っていますが、グローバル・ウェルス・マネジメント部門の、富裕層のお客様は、当社独自の革新的なサービスや機会をご利用いただいています。具体的には、「テイラード・グループ」は個々の顧客ニーズに即したポートフォリオ管理サービスを提供、「グローバル・ヘッジ・ストラテジーズ」は、カスタマイズしたヘッジファンドのポートフォリオを提供するパシフィック・オルタナティブ・アセット・マネジメント・カンパニーとの合弁会社です。また、グローバル・カストディのプラットフォームを通じてシティグループの世界各地の拠点を生かした総合的なカストディ業務や、30カ国20通貨でのレポーティングサービスを提供しています。

知的分野でのリーダーシップ

2005年、グローバル・ウェルス・マネジメント部門では、知的な経営資源の増強についても引き続き取り組みました。シティグループ全体の規模や経営資源を活用し、各業務への投資を増やし、お客様や株主へのパフォーマンスを向上させることができました。

その一例として、世界各国での投資リサーチ能力の増強に引き続き取り組んでいる点が挙げられます。現時点でも業界内で最も堅実な体制を敷いており、300人以上のアナリストとストラテジストが、主要な世界指数の時価総額の約90％を占める約2,800種類の株式銘柄を調査対象としています。

また、今年は部署名の変更行い、スミス・バーニー・グローバル・エクイティ・リサーチがシティグループ・インベストメント・リサーチに変わりました。シティグループの名声と強力な世界的ブランド力を活用したものであり、法人金融・投資銀行部門に属していたコーポレート・ボンド・リサーチを取り込む等、業容の拡大も反映しています。

2005年には、業界横断的な投資の部署を設け、経済や市場、資産配分の横断的な見解を出しています。各分野における専門家と連携し、その見解をお客様へのソリューションの提案に活用しています。業界横断的な見解は、社内やウォール街のリーダーたちから支持を得て、また、お客様を第一とするサービスのモデルの根幹をなすものとなっています。

「投資銀行機能を備えた総合的なプライベートバンキングこそ、私が探していた資産管理のサービスなのです。個人資産はビジネス上の利益と表裏一体であり、シティグループは、この点も深く認識しています。」

レイモンド・ソン、ライトオングループ チェアマン、アジア

2005年には、米国内の顧客向けに「ホール・ネット・ワース」を導入しました。これは、ヘッジファンド、プライベート・エクイティ、不動産等のオルタナティブ資産を含め各種のアセットクラスを取り入れたアセット・アロケーションの枠組みです。世界各国のお客様にとっても有用なものになるよう内容の強化も図りました。

また、全業務において専門家の育成・認定プログラムを拡充させることで、人材育成面でも多額の投資を行いました。

業務展開地域の拡大と関係の深化

2006年には、上述した様々な取り組みをさらに展開していくことに加え、米国外の市場を重視してまいります。特に、シティグループ・ウェルス・アドバイザーズ（米国外のスミス・バーニーの事業）を拡充させていくとともに、インド、ブラジル、英国の主要3ヶ国で、シティグループ・プライベートバンクの事業を展開していく予定です。

世界でのプレゼンスを拡充しつつ、シティグループが強みを発揮できる手腕や見識を引き続き提供し、お客様の利益を追求してまいります。当社のオープンな組織体制や、顧客重視のモデルに加え、シティグループ・インベストメント・リサーチを含めグローバル・ウェルス・マネジメント部門に属する世界でも優れた人材とともに、全てのお客様との間に緊密で長期的な関係を構築し、世界各国で取引先として選ばれる資産管理のサービスを提供できると確信しています。

C = 優れた商品

「お客様との取引にあたり、**社員への教育が重要**です。お客様は、オルタナティブ投資がご自身のポートフォリオにもたらすプラス効果とリスクの両方について、意思決定する前に理解しておく必要があります。お客様をサポートするため、当社では幅広い商品に加え、アセット・アロケーションのリサーチ・チームによる定量的な見解や、投資の専門家による定性的な見解を提供できます。」

モーリーン・オットゥール、シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツ、マネジング・ディレクター、富裕層向け営業部門責任者、南北アメリカ

シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツ

High-Net-Worth Individuals...Institutions...Pensions...High-Net-Worth

シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツでは、プライベート・エクイティ、ヘッジファンド、不動産、仕組み商品、商品ファンドの5つのアセットクラスにわたり、幅広いオルタナティブ投資を提供しています。

世界でも最大級のオルタナティブアセットマネージャの一社として、シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツは、運用資産が376億ドル、債務ベースで1,000億ドルを上回っています。また、当社の自己投資を行うとともに、法人・富裕層顧客から集めた資金も運用しています。2005年の運用実績は良好であり、収入は34億ドルで、当期純利益は前年比87%増の14億ドルとなりました。

シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツは、金融業界で最も高度で総合的なオルタナティブ投資事業を幅広く行っています。プライベート・エクイティ、ヘッジファンド、不動産、仕組み商品、商品ファンドの5つのアセットクラスにわたる幅広い商品を提供しています。運用拠点を12ヶ所に設け、投資チームの起業家的なスキルを発揮してチャンスを捉え、一方で、シティグループの優れた知的基盤、業務基盤、財務基盤の力を活用できるようにしています。

戦略と目標

当部門の目標は、オルタナティブ投資の分野で世界一になることであり、この目標達成に向けて独自のビジネスモデルを設けています。このビジネスモデルの特徴として以下の6点が挙げられます。

お客様の投資とともに自己投資を行う

シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツでは、122億ドルの自己投資を行っています。そのため、シティグループの利益と投資家の利益が合致しています。まず、投資家本人の立場に立って最も魅力的な投資手法を検討した上で、商品開発を行うことで、世界各国のお客様が当社とともに投資できる環境を整備しています。たとえば、2005年には、ドイツ最大手の不動産会社であるドイチェ・アニントン・イモビリエン・グループの株式を取得しましたが、この案件には、当社に加えてお客様も資金を投下しています。

2005年には、当社の投資商品への第三者からの投資額は62億ドルとなり、そのうち半分以上が米国外からの投資で占められています。

革新的商品の実績

周囲に先立ってテーマを把握することは、多額の収益を生み出す上で極めて重要な要素です。シティグループにはオルタナティブ投資の面で主導的な役割を果たし、新商品を開発してきた長い歴史があります。1960年代には、他社に先駆けてプライベート・エクイティ事業に参入し、その10年後には、業界の中でも早期に商品ファンドの一つを開拓しました。1980年代後半には初めて仕組み商品を導入し、1990年代初頭には、当社初のヘッジファンド事業を立ち上げました。

総合的で多様なプラットフォーム

当社ではオルタナティブ投資事業の幅が広いため、投資家のニーズに適時に対応しつつ、客観性も確保しています。狭義のオルタナティブ投資事業とは異なり、当社の場合は業務の幅が広いため、客観性を維持できるのです。様々なアセットクラスのプラス効果を比較でき、その時点で最も魅力的な投資手法を判断できます。

強力なグローバルの販売網

当社の社外投資家には機関投資家や富裕層などが含まれます。世界各地に50人体制で営業・マーケティングチームを設け、年金基金、養老年金、保険会社、銀行、個人投資家といった幅広い顧客層に対し、顧客のポートフォリオに当社がどのように貢献できるか説明しています。さらに、グローバル・ウェルス・マネジメント部門や法人金融・投資銀行部門、グローバル個人金融部門の各事業部門とも緊密に連携して、シティグループ販売網の威力を発揮することを目指しています。

ワールドクラスのサービスと管理体制

世界でも一流の投資事業を構築するには、法務、税務、情報技術、会計といった各種分野の能力を強化して、投資担当者に投資に重点的に取り組んで能力を発揮してもらう必要があります。シティグループ内部のリスクマネジメント、コンプライアンスや監査に加え、当社の運用拠点は監督官庁の監督下にあります。

運用実績を重視

投資の専門家の判断が運用実績を大きく左右します。シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツの資金額、販売力、情報により最も優秀な人材を確保することができます。2005年には、優秀な投資の専門家を150人採用しました。

C = 最もグローバルな存在

「メキシコにおいてシティグループとバナメックスが長期にわたり事業を展開してきたことを考えれば、サバー・クエンタとの業務提携は自然なことで、メキシコ各地における持続的経済発展を推進する力になっています。低所得層の若年者や成人に対して金融教育、職業技能や起業家研修を提供し、金融商品・サービスへの利用の道を開き、自分自身、家族、地域社会にとって**明るい未来を自力で切り開いてもらえる**よう努めています。」

アートゥロ・ザパタ、JA/IMPULSA チェアマン、メキシコ

グローバルな地域貢献活動

Non-Governmental/Non-Profit Organizations...MFIs...Individuals

シティグループが世界各地で事業を展開している中、生活し勤務する社会に役立つため、地域ごとに様々な活動を行っています。

2005年、シティグループ・ファンデーションや各部門で行われた慈善寄付の金額は、総額で1億2,600万ドルを上回っています。

シティグループ全体で見ると、2005年に総額約350億ドルの地域貢献を目的とした資金供給・投資が米国内の低中所得世帯・地域に投入されています。住宅購入を希望している低中所得世帯が利用できる資金を確保するため、シティグループは、2010年までに米国内において低利住宅ローンとして2,000億ドルの枠を設けています。2005年末時点における融資実績は、約1,100億ドルに達しています。

2005年、シティグループは、「ダウ・ジョーンズ・サステイナビリティ・ワールド・インデックス」の構成銘柄に再び認定されました。この指標は、環境面、社会面、経済面における実績で上位10%に属する企業を認定するものです。また、環境面での持続性、企業市民性、株主への利益還元、人権擁護に関する特定基準を満たしているとして、再び「FTSE4 グッド・インデックス」にも選ばれました。

金融教育

2004年、金融教育活動を支援するため、10年間で総額2億ドルの資金を拠出する取り組みにあたり、シティグループでは、2005年に世界各国で総額約3,000万ドルの寄付金や補助金を提供しました。プログラムの実施例として、「アドベンチャー・オブ・エージェント・ペニー＆ウィル・パワー（The Adventure of Agent Penny and Will Power）」というプログラムをアジア域内約5万人の子供たちを対象に実施しました。また、サバー・クエンタのプログラム「知識は大切（Knowledge Counts）」などのプログラムにも資金を拠出しています。このプログラムは、バナメックス、地方自治体、非政府団体が共同実施するものであり、雇用プログラム、起業家研修、金融教育を通じて、あらゆる層のメキシコ国民を対象として実施されるものです。

「1997年の創立以来、シティグループ・ファンデーションによる約26万ドルの支援を通じて、グラミン・ファンデーションUSAでは、貧困層世帯を対象として、マイクロファイナンスの利便性や革新的技術を提供し、貧困克服に向けた能力養成活動を推進しています。」

アレックス・カウンツ、グラミン・ファンデーションUSA、総裁兼CEO

持続的開発

エクエーター原則の創立メンバーの一員として、シティグループでは、社内リスク方針の改訂や環境・社会リスク管理研修の強化により、同原則の一律実施に向けた取り組みを強化しています。エクエーター原則は、世界銀行と国際金融公社の方針に基づいて策定され、プロジェクトファイナンスの案件において環境・社会配慮に対する自主ガイドラインです。

また、2005年には、シティグループの持続的開発投資未公開株式プログラムから、バランパール・チニ・ミルズ社に対して投資し、燃料添加剤としてのエタノールの生産能力増強が図られています。また、シティグループは2011年までに世界各地で温室効果ガス排出量を10%削減すると確約しています。

フィランソロピーとボランティア活動

マイクロファイナンスの民間部門の主導的支援者として、シティグループ・ファンデーションは、マイクロファイナンス機関やマイクロファイナンスネットワークに対して過去5年間で約2,700万ドルの資金を投入してきました。

2005年には、社員による地域ボランティア活動に対する支援も引き続き実施しました。その中にはパキスタン、南アジア、北米およびラテンアメリカにおいて発生した自然災害による被災地での支援活動を行った多数の社員が含まれます。災害救助や被災地復興に対して3,000万ドルの拠出を確約しました。

当グループの会長であるサンディ・ワイル氏は、他の民間企業のリーダー4人とともに、南アジアを襲った地震の被害者支援の資金調達面で主導的役割を果たすよう依頼を受けました。シティグループ、シティグループ・ファンデーションおよび社員の合計で、支援活動に対して上限700万ドルの寄付が行われ、ボランティア支援活動も展開しました。

シティグループが受賞した賞

2005年においても、シティグループは、、各種団体、メディア、そして投資家の方々から業界のリーダーとして高い評価を受けました。受賞した主な賞は次の通りです。

AlternAtive investment news
Institutional Manager of the Year

AsiAmoney
Best Private Bank, Asia-Pacific

the Asset
Bank of the Year

Best Bond House

Best Loan House

the BAnker
Best FX House, the Americas

Americas Securitization House

the BAnker technology AwArds
Winner, Back-Office Technology: Citigroup Asset Manager

Solutions for Separately Managed Accounts

Bond Buyer
Deal of the Year–San Jose Redevelopment Agency Bond

euromoney
Best Bank, Latin America

Best Debt House, Australia

Best Bank, Mexico

Best Private Bank, Latin America

Best Private Bank, The Philippines

Best Private Bank, Taiwan

Best Private Bank, Thailand

Best Private Bank, Middle East

Best Private Bank, Bahrain

World's Best Cash Management Bank (th consecutive year)

euromoney islAmic FinAnce AwArds
Best International Bank–Sukuk House

euromoney AwArds For excellence
Best Debt House, CEEMEA

Best Investor Services, CEEMEA

Best at Risk and Cash Management, CEEMEA

Best Debt House, Middle East

FinAnce AsiA
Bank of the Year

Best Loan House

Best Cash Management Bank

Best Secondary Deal

Best IPO

Best Foreign Commercial Bank, Australia

gloBAl custodiAn hedge Fund AdministrAtion survey
Best in Class for Mutual Funds and Hedge Funds

gloBAl FinAnce
Best Internet Bank

Best Corporate & Investment Internet Bank

Best Investment Bank, Middle East/Africa

Best Bank for North American Equity Derivatives

Best Emerging Market Bank, Latin America

Best M&A Advisor in Russia

Best Global Debt Bank

iFr
Best Emerging Market Loan House, EMEA

Best Loan House, Latin America

Best Loan, Latin America

Best Asia Pacific Loan House

Loan House of the Year, China

Loan House of the Year, Hong Kong

Equity House of the Year, India

Bond House of the Year, Singapore

Equity House of the Year, South Korea

Best AP Domestic Bond, Wells Fargo & Company's A$2 billion fixed/float rate

iFr AsiA
Best Loan House

insto
Deal of the Year, BHP Billiton's US$. billion acquisition of WMC Resources

investment deAlers' digest: deAls oF the yeAr
Overall Deal/Private Equity Deal: Sungard LBO

FIG Deal of the Year: Citigroup Swap with Legg Mason

Healthcare Deal: Emory University

lAtin FinAnce
Best Syndicated Loan

Best Cross-Border M&A

Best Syndicated Loan–Techint $1. 8B loan

Best Project Finance–Mexico City International Airport

stArmine Broker rAnkings
Best Stock Picking (Citigroup Investment Research), France, The Netherlands

Most Award-Winning Broker in U.S.–Citigroup Investment Research

thomson deAl wAtch
Best Equity Deal, Japan (Bank of Yokohama)

Best Equity-Linked Bond, Domestic Deal, Japan (Sankyo Tateyama Holdings)

Best Asset-Backed Securities Deal, Japan (Chuo Mitsui Trust & Banking)

trAde And ForFeiting review
Best Provider of Plain Vanilla Trade Finance

trAde FinAnce
Best Trade Bank, Asia

Best Structured Trade Bank, Asia

treAsury And risk mAnAgement
Best International Cash Management Bank

worth
Top 100 Wealth Advisors (Citigroup Global Wealth Management had five wealth advisors on the list)

先日、ニューヨークで開催されたシティグループ・カントリー・オフィサー年次フォーラムに出席したシティグループ・カントリー・オフィサー6名。同フォーラムでは、シティグループ・インターナショナル・オペレーションズ・プレジデントであるスティーブン・ロング（右から3番目）が司会役を務めた。写真は、左から右に、グラディーズ・クーペル（ハイチ）、エメカ・エムワ（ナイジェリア）、ヨンク・ハ（韓国）、スーザン・ハーネット（ドイツ）、スティーブン・ロング、モハメッド・アルショロギ（バハレーン）、スラウォミール・シコラ（ポーランド）

シティグループは約200年にわたる伝統を有し、今日では100ヶ国以上で事業を展開しています。金融サービス市場は急速に拡大しており、その大半は米国外です。成長の可能性は極めて大きく、シティグループ・カントリー・オフィサーは、この成長戦略において極めて重要な役割を果たしています。各国の社会や規制当局に対してはシティグループを代表する役割を果たし、世界各地でシティグループの事業基盤を構築、維持していく上でリーダーとしての役割を果たしています。

シティグループ・カントリー・オフィサー

Algeria
Kamel B. Driss

Argentina
Juan Bruchou

Aruba
See Venezuela

Australia
Les Matheson

Austria
Helmut Gottlieb

Bahamas
Margaret A. Butler

Bahrain
Mohammed E. Al-Shroogi

Bangladesh
Mamun Rashid

Barbados
See Trinidad

Belgium
José de Peñaranda de Franchimont

Bolivia
Federico Elewaut

Brazil
Gustavo Marin

Brunei
Glen R. Rase

Bulgaria
Amin Manekia

cameroon
Asif Zaidi

canada
Kenneth E. Quinn

cayman islands
See Bahamas

channel islands (Jersey)
Clive S. Jones

chile
João Miranda

china
Richard D. Stanley

colombia
Franco Moccia

congo
Michel Losembe

costa rica
Jorge Mora

czech republic
Javed Kureishi

denmark
Mark Luscombe

dominican republic
Máximo R. Vidal

ecuador
Bernado J. Chacin

egypt
Michel Accad

el salvador
Gjis Bert Veltman

Finland
Kari Laukkanen

France
Jean-Claude Gruffat

gabon
Funmi Ade-Ajayi

germany
Susan S. Harnett

ghana
Joseph Carasso

greece
Christos Sorotos

guam
Ajay Kashyap

guatemala
Juan A. Miro

haiti
Gladys M. Coupet

honduras
José Luis Cortés

hong kong
T.C. Chan

hungary
to be named

india
Sanjay Nayar

indonesia
Peter B. Eliot

ireland
Aidan M. Brady

israel
Gus Felix

italy
Giuliano Malacarne

ivory coast (côte d'ivoire)
to be named

Jamaica
Peter Moses

Japan
Douglas L. Peterson

Jordan
Ziyad A. Akrouk

kazakhstan
Daniel J. Connelly

kenya
Ade Ayeyemi

korea (south)
Yung-Ku Ha

lebanon
Walter Siouffi

luxembourg
Marc Pecquet

macau
See Hong Kong

malaysia
Piyush Gupta

mexico
Manuel Medina-Mora

morocco
Nuhad K. Saliba

netherlands
Chris Devries

new Zealand
Mark A. Fitzgerald

nigeria
Emeka Emuwa

norway
Pål Rokke

Pakistan
Zubyr Soomro

Panama
Francisco Conto

Paraguay
Ignacio Morello

Peru
Constantino Gotsis

Philippines
Sanjiv Vohra

Poland
Slawomir S. Sikora

Portugal
Paulo Gray

Puerto rico
Alvaro Jaramillo

romania
Shahmir Khaliq

russia
Mark T. Robinson

senegal
Charles Kie

singapore
Catherine Weir

slovakia
Igor Tham

south Africa
Zdenek Turek

spain
Sergio de Horna

sri lanka
Kapila Jayawardena

sweden
Jan Belfrage

switzerland
Per Etholm

taiwan
Morris Li

tanzania
Mayank Malik

thailand
Gary Newman

trinidad/tobago
Dennis Evans

tunisia
David Garner

turkey
Steve Bideshi

uganda
Shirish Bhide

ukraine
Nadir Shaikh

uAe
Sajjad Razvi

united kingdom
Michael J. Kirkwood

uruguay
Daniel Varese

venezuela
Francisco Aristeguieta

vietnam
Charly Madan

virgin islands
See Puerto Rico

Zambia
Rajaram Venkatraman

（注）シティグループが事業を展開している国・地域のうち、シティグループ・カントリー・オフィサーのいないところについては、上記一覧表に反映されていません。

リーダーシップ

取締役

c. michael Armstrong
Chairman, Board of Trustees
Johns Hopkins Medicine, Health Systems & Hospital

Alain J.P. Belda
Chairman & CEO, Alcoa Inc.

george david
Chairman & CEO, United Technologies Corporation

kenneth t. derr
Chairman, Retired, Chevron Corporation

John m. deutch
Institute Professor, Massachusetts Institute of Technology

roberto hernández ramírez
Chairman, Banco Nacional de Mexico

Ann dibble Jordan
Consultant

klaus kleinfeld
President & CEO, Siemens AG

Andrew n. liveris
President, CEO, and Chairman-Elect
The Dow Chemical Company

dudley c. mecum
Managing Director, Capricorn Holdings, LLC

Anne mulcahy
Chairman & CEO, Xerox Corporation

richard d. Parsons
Chairman & CEO, Time Warner Inc.

charles Prince ◻
CEO, Citigroup Inc.

Judith rodin
President, Rockefeller Foundation

robert e. rubin ◻
Director & Chairman Executive Committee; Member, Office of the Chairman, Citigroup Inc.

Franklin A. thomas
Consultant, The Study Group

sanford i. weill
Chairman, Citigroup Inc.

honorAry director
the honorable gerald r. Ford
Former President of the United States

マネジメント・コミッティ

ellen Alemany †◻
CEO, Global Transaction Services
Corporate & Investment Banking

raul Anaya *
Head, Global Consumer Group
Latin America

shirish Apte
CEO, Central Eastern Europe, Middle East & Africa, Corporate & Investment Banking

cindy Armine
Chief Compliance Officer
Global Wealth Management

william A. Arnold
CFO, Citigroup Alternative Investments

vikram A. Atal *
Chairman & CEO, Citi Cards
Global Consumer Group

suneel Bakhshi †
Head, Emerging Markets Corporate Bank, Corporate and Investment Banking

Ajay Banga *+◻
Chairman & CEO, Global Consumer Group-International

randolph h. Barker †
Co-Head, Global Fixed Income
Corporate and Investment Banking

dean Barr
Head of Liquid Investments
Citigroup Alternative Investments

vicky Bindra *
EVP, International Customer Franchise & CitiBusiness
Global Consumer Group

stephen Bird *
CEO, Consumer Finance and Credit Cards, Japan
Global Consumer Group

sir win Bischoff ◻
Chairman, Citigroup Europe

david c. Bushnell +◻
Senior Risk Officer
Citigroup Inc.

nicholas e. calio ◻
SVP, Global Government Affairs
Citigroup Inc.

michael A. carpenter ◻
Chairman & CEO
Citigroup Alternative Investments

geoffrey o. coley †
Co-Head, Global Fixed Income
Corporate and Investment Banking

michael l. corbat †
Head, Global Relationship Bank
Corporate and Investment Banking

Julio A. de Quesada
Head, Corporate and Investment Banking, Mexico

John l. donnelly †
Head, Human Resources & Corporate Affairs, Corporate and Investment Banking

robert druskin †◻
President & CEO, Corporate and Investment Banking

James duffy *
Senior Human Resources Officer
Global Consumer Group

michael r. dunn *◻
CFO & COO
Global Consumer Group

Augusto escalante Juanes *
Corporate Director, Payment Instruments & Marketing, Banamex, Global Consumer Group

James A. Forese †
Head, Global Equities, Corporate and Investment Banking

steven J. Freiberg *+◻
Chairman & CEO, Global Consumer Group-North America

richard garside *
COO, North America Operations & Technology
Global Consumer Group

John gerspach
Controller, Chief Accounting Officer, Citigroup Inc.

edith ginsberg
Senior Human Resources Officer
Corporate Center

edward F. greene †
General Counsel
Corporate and Investment Banking

Paul c. guidone •
Chief Investment Officer
Global Wealth Management

yung-ku ha
CEO, Citibank Korea Inc.

marianne laing hay •
CEO Europe
Global Wealth Management

michael s. helfer ◻
General Counsel
Corporate Secretary
Citigroup Inc.

Bonnie howard ◻
Chief Auditor
Citigroup Inc.

leah c. Johnson
Director, Public Affairs
Citigroup Inc.

charles d. Johnston •◻
President & CEO
Global Private Client Group
Global Wealth Management

mark Joiner •
CFO, Head, Strategy and M&A
Global Wealth Management

lewis B. kaden ◻
Vice Chairman, Chief Administrative Officer, Citigroup Inc.

william kennedy •
Managing Director
Director, Citigroup Investment Research
Global Wealth Management

kevin m. kessinger +◻
Chief Operations & Technology Officer, Citigroup Inc.

michael klein †◻
CEO, Global Banking, Corporate and Investment Banking;
Vice Chairman, Citibank International plc

Peter knitzer *
Head, Customer Franchise Management, NA
Global Consumer Group

damian m. kozlowski •◻
CEO, The Citigroup Private Bank
Global Wealth Management

sallie l. krawcheck +◻
CFO, Citigroup Inc.

maria louise (marisa) lago †
Chief Compliance Officer
Corporate and Investment Banking

robin leopold •
Senior Human Resources Officer
Global Wealth Management

carl e. levinson *
President & CEO
Consumer Lending Group
Global Consumer Group

stephen h. long +◻
President, International Operations
Citigroup Inc.

david lowman *
President & CEO
CitiFinancial International
Global Consumer Group

Alan macdonald +†
COO, Global Banking, Corporate and Investment Banking;
Vice-Chairman, Citibank N.A.

thomas g. maheras †◻
CEO, Global Capital Markets
Corporate and Investment Banking

gustavo marin †
CEO, Citigroup Brazil

maura markus *
President, Citibank North America
Global Consumer Group

Faith l. massingale *
Head, International Cards
Global Consumer Group

raymond J. mcguire †
Co-Head, Global Investment Banking, Corporate and Investment Banking

manuel medina-mora ◻
Chairman & CEO, Latin America & Mexico; CEO, Banamex

william J. mills †◻
CEO, Europe, Middle East, and Africa, Corporate and Investment Banking

hans morris †◻
CFO, Head of Technology and Operations, Corporate and Investment Banking

robert morse †◻
CEO, Asia Pacific, Corporate and Investment Banking

r. russell morton
Director, Global Private Client Branches, Global Wealth Management

stephanie B. mudick *
General Counsel
Global Consumer Group

Jessica A. Palmer †
Head, Risk Management
Corporate and Investment Banking

steffen Parratt
Head, Planning & Analysis and
Capital Allocation, Citigroup Inc.

douglas l. Peterson ◻
CEO, Citigroup Japan; Chairman
& CEO, Citibank Japan

Joyce A. Phillips *
Head, International Retail Bank
Global Consumer Group

charles Prince ◻
CEO, Citigroup Inc.

raymond J. Quinlan *◻
President & CEO
North American Retail Distribution
Global Consumer Group

Fernando Quiroz robles †
Head, Latin America, Corporate and
Investment Banking

Amy J. radin *
Chief Innovation Officer
Global Consumer Group

william r. rhodes +◻
Chairman, President & CEO
Citibank N.A.; Senior Vice
Chairman, Citigroup Inc.

saul m. rosen
Chief Tax Officer
Citigroup Inc.

robert e. rubin ◻
Director & Chairman, Executive
Committee; Member, Office of the
Chairman, Citigroup Inc.

michael schlein ◻
SVP, Global Corporate Affairs,
Human Resources and Business
Practices, Citigroup Inc.

tom schwartz •
Head, Risk Management
Global Wealth Management

Frits seegers *◻
CEO, Europe, Middle East, and
Africa, Global Consumer Group

deepak sharma •
CEO, Asia Pacific & Middle
East Region, Global Wealth
Management

michael J. sharp •
General Counsel
Global Wealth Management

Jane c. sherburne
Senior Deputy General Counsel
Citigroup Inc.

Zion shohet ◻
Head, Strategy and M&A
Citigroup Inc.

slawomir s. sikora
CEO, Poland
CEO, Bank Handlowy w
Warszawie S.A.

richard d. stanley
CEO, China
Citigroup Inc.

sheree stomberg •
Managing Director
Head, Operations & Technology
Global Wealth Management

todd s. thomson •+◻
Chairman & CEO
Global Wealth Management

Arthur h. tildesley
Director, Investor Relations
Citigroup Inc.

Alexander g. van tienhoven •
President, Latin America Region
The Citigroup Private Bank
Global Wealth Management

Ashok vaswani *◻
CEO, Asia Pacific
Global Consumer Group

Alberto J. verme †
Co-Head, Global Investment
Banking, Corporate and Investment
Banking

stephen volk †◻
Vice Chairman, Citigroup Inc.

michael d. weitzman *
Head, International Operations
& Technology, Global Consumer
Group

simon williams *
Chief Risk Officer
Global Consumer Group

martin J. wong
Chief Compliance Officer
Citigroup Inc.

Paco ybarra †
Head, Global Emerging Markets
Sales & Trading, Corporate and
Investment Banking

shengman Zhang
Chairman, Public Sector Group
Corporate and Investment Banking

enrique Zorrilla Fullaondo *
Head, Commercial Markets,
Banamex, Global Consumer Group

シティグループ・インターナショナル・アドバイザリー・ボード

chAirmAn[1]

James d. wolfensohn kBe Ao
Chairman of Wolfensohn &
Company, L.L.C.
Citigroup Senior Advisor

memBers

mukesh d. Ambani
Chairman & Managing Director
Reliance Industries Limited

senator howard h. Baker, Jr.
Former United States Ambassador,
Japan; Former United States Senate
Majority Leader

cathleen Black
President, Hearst Magazines

sir Peter Bonfield cBe Freng
Senior Non-Executive Director
AstraZeneca PLC
Former Chief Executive
British Telecommunications plc

michael A. carpenter ◻
Chairman & CEO
Citigroup Alternative Investments

John l. clendenin
Former Chairman & CEO
BellSouth Corporation

Bertrand P. collomb
Chairman, Lafarge S.A.

luca cordero di montezemolo
Chairman, Fiat S.p.A
Chairman and CEO, Ferrari S.p.A.
Chairman, Confindustria

valentín díez
Chairman, Mexican Businessmen
Council for Foreign Trade,
Investment and Technology;
Former Vice Chairman, CEO, Sales
and Marketing, Grupo Modelo,
S.A. de C.V.

robert druskin †◻
President & CEO
Citigroup Corporate and
Investment Banking

John v. Faraci
Chairman & CEO
International Paper

dr. victor k. Fung
Chairman, Li & Fung Group

richard J. harrington
President & CEO
The Thomson Corporation

James m. kilts
Vice Chairman of the Board,
Gillette, The Procter & Gamble
Company

göran lindahl
Member of the Board, Sony
Corporation and
Sony Ericsson Mobile Company

henry A. mckinnell, Jr., Ph.d.
Chairman & CEO
Pfizer Inc

robert l. nardelli
Chairman, President & CEO
The Home Depot

charles Prince ◻
CEO, Citigroup Inc.

hans w. reich
Chairman of the Board of
Managing Directors
KfW Bankengruppe

dr.-ing. wolfgang reitzle
CEO, Linde AG

william r. rhodes +◻
Chairman, President & CEO
Citibank, N.A.; Senior Vice
Chairman, Citigroup Inc.

robert e. rubin ◻
Director & Chairman, Executive
Committee; Member, Office of the
Chairman, Citigroup Inc.

dr. h. onno ruding
Retired Vice Chairman, Citibank, N.A.
Former Minister of Finance,
The Netherlands

ekkehard d. schulz
Chairman of the Executive Board
ThyssenKrupp AG

morris tabaksblat kBe
Former Chairman & CEO
Unilever NV

sanford i. weill
Chairman, Citigroup Inc.

lorenzo h. Zambrano
Chairman & CEO
CEMEX, S. A. de C.V.

* グローバル個人金融プランニング・グループ　† 法人金融・投資銀行プランニング・グループ　• グローバル・ウェルス・マネジメント・プランニング・グループ　◻ シティグループ・オペレーティング・コミッティ
+ シティグループ・ホールディングス・インク/シティバンク、エヌ・エイ取締役

[1]ジェームズ・D・ウォルフェンソンは、サンフォード・I・ワイルの後任として2006年4月18日よりインタナーショナル・アドバイザリー・ボードのチェアマンとなりますが、ワイルはアドバイザリー・ボードのメンバーを引き続き務めます。

財務ハイライト

シティグループ当期純利益—事業部門別

単位：百万ドル

	2005年度	2004年度[1]	増減(%)
	事業部門別純利益		
米国カード	**$2,754**	$3,562	**(23)%**
米国リテール販売網	**1,752**	2,019	**(13)**
米国個人向け融資	**1,938**	1,664	**16**
米国中小企業向け業務	**729**	765	**(5)**
米国・個人金融部門合計[2]	**$7,173**	$8,010	**(10)%**
米国外カード	**$1,373**	$1,137	**21 %**
米国外消費者金融	**642**	586	**10**
米国外リテールバンキング	**2,083**	2,157	**(3)**
米国外・個人金融部門合計	**$4,098**	$3,880	**6 %**
その他[3]	**$(374)**	$97	**NM**
グローバル個人金融部門合計	**$10,897**	$11,987	**(9)%**
法人金融・投資銀行部門			
キャピタル・マーケッツおよび銀行業務	**$5,327**	$5,395	**(1)%**
トランザクション・サービス	**1,135**	1,045	**9**
その他[4, 5]	**433**	(4,398)	**NM**
法人金融・投資銀行部門合計	**$6,895**	$2,042	**NM**
グローバル・ウェルス・マネジメント部門			
スミス・バーニー	**$871**	$891	**(2)%**
プライベートバンク[6]	**373**	318	**17**
グローバル・ウェルス・マネジメント合計	**$1,244**	$1,209	**3 %**
シティグループ・オルタナティブ・インベストメンツ	**$1,437**	$768	**87 %**
本社事項/その他	**$(667)**	$48	**NM**
継続事業利益	**$19,806**	$16,054	**23 %**
廃止事業利益[7]	**$4,832**	992	**NM**
会計基準の変更に伴う累積効果[8]	**$(49)**	–	–
当期利益	**$24,589**	$17,046	**44 %**

[1] 当期から表示変更に対応するため再分類。
[2] 米国の開示事項にはカナダとプエルトリコが含まれる。
2004年度の数値には、サンバ・フィナンシャル・グループ（サンバ）の株式売却益3億7,800万ドル（税引後）が含まれる。
2004年度の数値には、サンバの株式売却益3億7,800万ドル（税引後）と、ワールドコム和解関連経費・訴訟引当金49億5,000万ドル（税引後）が含まれる。
[5] 2005年度の数値には、ワールドコム和解関連経費・訴訟引当金3億7,500万ドル（税引後）が含まれる。
2004年度の数値には、日本におけるプライベート・バンク事業の閉鎖関連経費2億4,400万ドル（税引後）が含まれる。
トラベラーズの生命保険・年金事業の売却益21億ドルおよびアセット・マネジメント事業の売却益21億ドルを含まれる。
[8] 2005年度の会計処理上の変更（4,900万ドル）はFIN47採用を反映する。
NM-Not Meaningful

Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Grazie Dziękujemy Ci Gracias 감사합니다 Bedankt
Спасибо Merci Σ' ευχαριστούμε ありがとうございます Thank You Köszönöm
謝謝你 Danke Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Grazie Σ' ευχαριστούμε شكراً
Bedankt Спасибо Merci Dziękujemy Ci ありがとうございます Gracias Danke
Köszönöm Grazie Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Dziękujemy Ci 감사합니다
Σ' ευχαριστούμε Thank You Merci Grazie Bedankt Спасибо Obrigado
Dziękujemy Ci 謝謝你 Obrigado Köszönöm Danke Dziękujemy Ci Thank You
Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Grazie Dziękujemy Ci Gracias 감사합니다 Bedankt
Спасибо Merci Σ' ευχαριστούμε ありがとうございます Thank You Köszönöm
謝謝你 Danke Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Grazie Σ' ευχαριστούμε 감사합니
Bedankt Спасибо Merci Dziękujemy Ci ありがとうございます Gracias Danke
Köszönöm Grazie Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Dziękujemy Ci 감사합니다
Merci **Sandy, We have just one thing to say to you: Thank You.** Gracias
Σ' ευχαριστούμε Thank You Merci Grazie Bedankt Спасибо Obrigado
Dziękujemy Ci 謝謝你 Obrigado Köszönöm Danke Dziękujemy Ci Thank You
Obrigado Teşekkürler شكراً Grazie Dziękujemy Ci Gracias 감사합니다 Bedankt
Спасибо Merci Σ' ευχαριστούμε ありがとうございます Thank You Köszönöm
謝謝你 Danke Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Grazie Σ' ευχαριστούμε 감사합니
Bedankt Спасибо Merci Dziękujemy Ci ありがとうございます Gracias Danke
Köszönöm Grazie Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Dziękujemy Ci 감사합니다
Σ' ευχαριστούμε Thank You Merci Grazie Bedankt Спасибо Obrigado
Dziękujemy Ci 謝謝你 Obrigado Köszönöm Danke Dziękujemy Ci Thank You
Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Grazie Dziękujemy Ci Gracias 감사합니다 Bedankt
Спасибо Merci Σ' ευχαριστούμε ありがとうございます Thank You Köszönöm
謝謝你 Danke Obrigado Teşekkürler 谢谢你 **The Employees of Citigroup** شكراً
Bedankt Спасибо Merci Dziękujemy Ci ありがとうございます Gracias Danke
Köszönöm Grazie Obrigado Teşekkürler 谢谢你 Dziękujemy Ci 감사합니다
Σ' ευχαριστούμε Thank You Merci Grazie Bedankt Спасибо Obrigado
Dziękujemy Ci 謝謝你 Obrigado Köszönöm Danke Dziękujemy Ci Thank You

citigroup.com

©2006 Citigroup Inc.

181932 3/06 CIt2073